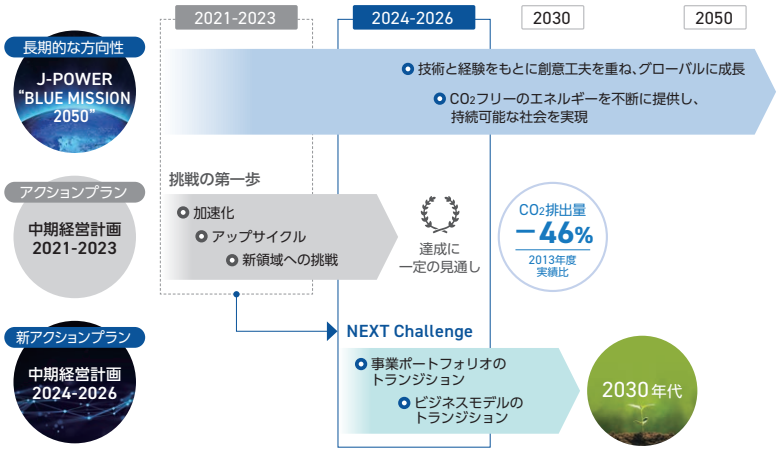
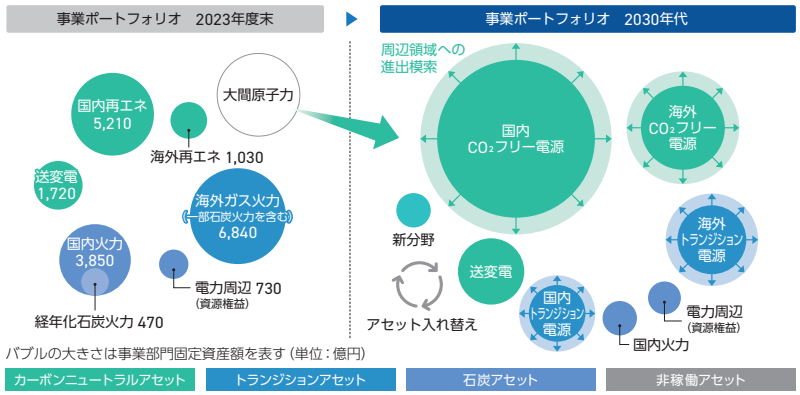
中期経営計画2024-2026

J-POWER “BLUE MISSION 2050” で目指すカーボンニュートラル実現に向け、中期経営計画2021-2023「挑戦の第一歩」の次ステップとなる中期経営計画2024-2026「Next Challenge」に取り組んでいます。2030年代にありたい姿を前提におき、事業ポートフォリオとビジネスモデルのトランジションを着実に進めています。



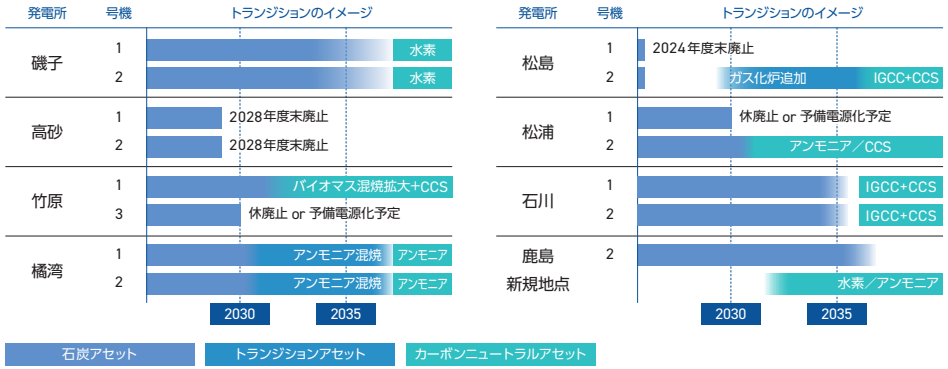
2030年代に目指す事業ポートフォリオ

J-POWERグループは、2030年代に国内外でカーボンニュートラルアセットが中心となるように、資本効率も意識しながら事業ポートフォリオの変革を目指します。再生可能エネルギーと大間原子力の開発とともに、国内火力のCO2フリー火力へのトランジションを進めることでアセットの入れ替えを進めていきます。また、電力供給やアセット保有に限らない電力事業に関する多様なニーズを捉え、周辺領域への進出も模索していきます。



火力トランジションの方向性

非効率石炭火力をフェードアウトするとともに、各地点の特性、設備の状況等を踏まえてバイオマス、水素、アンモニア、CCSなど最適な技術を選択し、電力安定供給に貢献しながらCO2削減を図っていきます。



※本計画は、政府の GX 政策（エネルギー基本計画・地球温暖化対策・NDC 等）、電力需給状況、電力制度設計、産業発展の進度等の前提条件に応じて随時更新・見直し・詳細化します。

重点項目

中期経営計画2024-2026では、事業ポートフォリオとビジネスモデルのトランジションに向けて、5つの重点項目を念頭に取り組みを進めています。

❶ 持続可能な収益源の確立と成長	再生可能エネルギー P.32　海外事業 P.19
❷ 2030年代事業ポートフォリオへの布石	水素・アンモニア P.36　送変電 P.18 原子力 P.34　イノベーションの推進 P.45
❸ 収益力・投資効率の向上	部門管理、投資効率 P.38 P.59
❹ グループ競争力の向上	人財 P.78　DX P.43
❺ ESG経営の深化	サステナビリティ経営 P.21